

第2回 インド北部山岳州における山地災害対策プロジェクトで ダブルウォールの技術協力



インドDWプロジェクト 第2回

プロジェクト名「ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト」においてダブルウォールの設計、施工指導の技術協力をおこなっており、弊社から2名が現地で施工指導に参加しています。

第2回は、現地の施工のようすをご紹介します。

<砂置換法による現場密度試験>

試験道具の使用方法をインドスタッフの方に伝え、実際に砂置換法を実践してもらいやり方を習得していただいています。



<岩盤設置部の処理>

端部は地形に合わせて矢板を切断し、地形との隙間はコンクリートで間詰めします。



<水抜き暗渠管を設置>

水抜き管周辺の上流側埋戻しには、排水性をよくするため、現地で発生した石材や岩ずりを投入し、呑口は周辺工事の残材を使用して閉塞を予防しました。



先日、大型のバックホウが現場に届き、施工スピードが向上しました。作業員の方も現地のJICAスタッフの方も、それぞれの仕事について理解されよい雰囲気プロジェクトが進んでいます。施工はいよいよ袖部の最上段にさしかかり、放水路部のコンクリート打設の準備にとりかかっています。

No3治山ダムは間もなく完成を迎える予定です。